



## 『 世界糖尿病デーにちなんで 』

---

糖尿病は国民の4人に一人といわれており、最も身近な病気のひとつです。一言で『糖尿病』といっても、1型、2型、その他の糖尿病、妊娠糖尿病と主に4つに分類されています。

糖尿病になる原因は、生活習慣が関連する場合や持って生まれた体質など人それぞれです。

糖尿病の治療は、食事運動療法が基本となります。最近は薬も多様化されていますので、血糖値を指摘された方は早めに再検査を受け、医師と相談した上で必要な治療を初期の段階から行うことをお勧めします。

さて、11月14日は世界糖尿病デーとなっており、インスリンを発見したカナダのフレデリック・バンティング医師の誕生日にあたります。

『団結して糖尿病と立ち向かおう』という運動の象徴として、ブルーサークルがシンボルとなっており、11月14日を含む糖尿病週間の期間は世界中で、もちろん鹿児島でも青い光でライトアップされる場所や建物があります。

この機会に糖尿病の予防と早期発見・早期治療などについて、もう一度考えてみませんか。



鹿児島県厚生連  
糖尿病看護認定看護師  
本田 美里